

~ 13
 3738
 5



假名
反古
一休
草紙

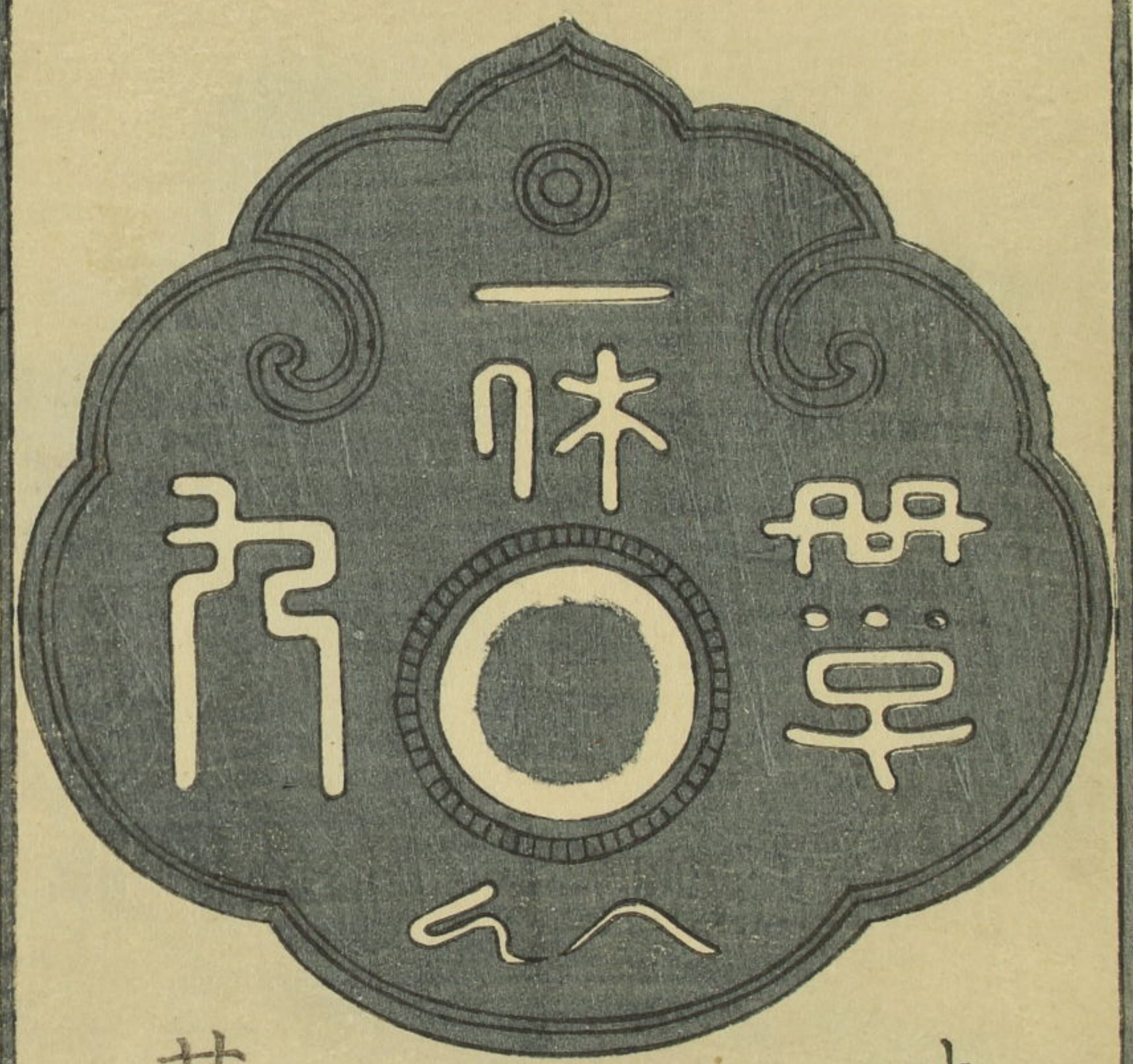


九編上

甘泉文庫

門 へ 13
3738
卷 5

種員作國貞画



上之卷

甘泉堂

三 一 四

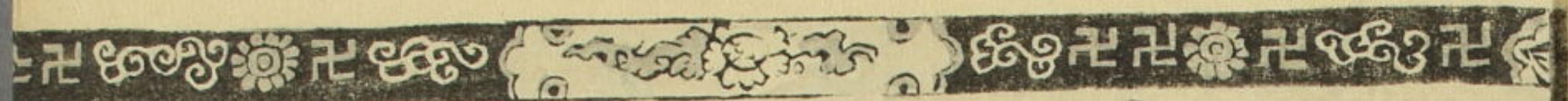
一休或年叔岳小登即小寂徒等禪師の活佛あると知れぬ不学の者小讀やるとも
文字を長書て給まじ。山門の宝物ふせんといへば楮を數十丈小継とせし金堂の前
より不動坂を過阪本うけて布置扱大筆小墨を漫件の紙小打付て直走小引ぬ法師
連讀の哉と問ふ更小讀得どと答ればはの中あるあまきの條小在は此字うづ
奈多うて讀めたる字ふあはれやと仰るは同小呆一休を聞ふまされぬ放氣人
るるも與りけることん話の虚實ある條ども屢風狂の行状を思はるる更も有る
其文字より小長き此野乘の始終あり休師が未生以前あり母君の傳より説
起老和尚六十八之新郷小寂示ふ小終意心こ漸發兒る卷僅九集頓小嗣
編を催促とも遅作小筆も無働緊縛ある不動坂然も麓の阪本ある板元も
愚子成稿の毎時るるば長き山法師より猶呆立ちある

安政丁巳蒼天

柳下亭種員識



水乙片



秋風や
 名木の
 弓子
 弦
 去来



女に姉に
 菱ひ婦に
 垣かき





松虫
狐と名は
女も形
之角



休
九
級

大徳寺の
宗純

一
后
休
禪
師
手
号





竹九編

巴道
経本
まろくち
とろろ

丹波國
黒谷越の
山獵師
洞九郎



一 柳煙亭種久作
 一 壽齋國貞畫
 忠臣貞婦
 いんは
 文庫
 初編 冊録一冊
 二編 出板 別
 三編 後拾
 柳下亭種員校合
 一 陽齋豐國助筆
 梅素亭玄魚補



種員作國貞画

仮名一休草紙
 九編 十編 十一編
 柳下亭種員作
 一壽齋國貞画

小女郎蜘蛛草環
 三編 大尾
 曲亭馬琴作
 一勇齋國芳画

照天松操月鹿毛
 五編 六編
 春風亭柳枝作
 一雄齋國輝画

風俗淺間嶽
 五編 六編
 種員校合
 種久抄録
 國貞畫



種員作

國貞画

外題曲三國全

下編九

柳下高種
又作歌川
國輝畫

大勢

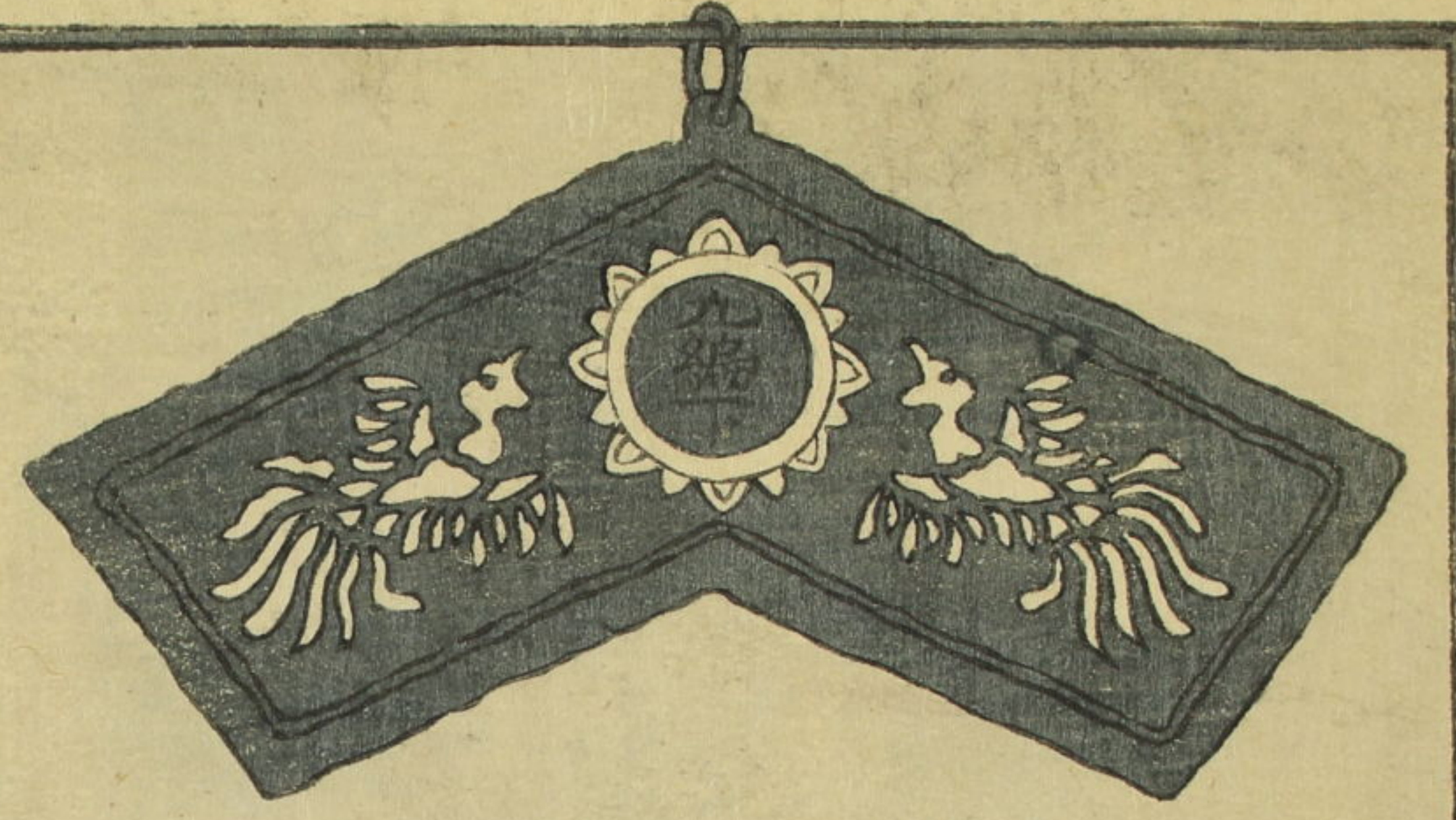
甘泉堂



木乙編

三の巻の...
 おひやちとわん
 下らうの山
 上らうの山
 下らうの山
 上らうの山
 下らうの山
 上らうの山
 下らうの山

きんぎょの...
 おひやちとわん
 下らうの山
 上らうの山
 下らうの山
 上らうの山
 下らうの山
 上らうの山
 下らうの山



仮名反古

一体字紙

種貞作

國貞画

芝泉市棒

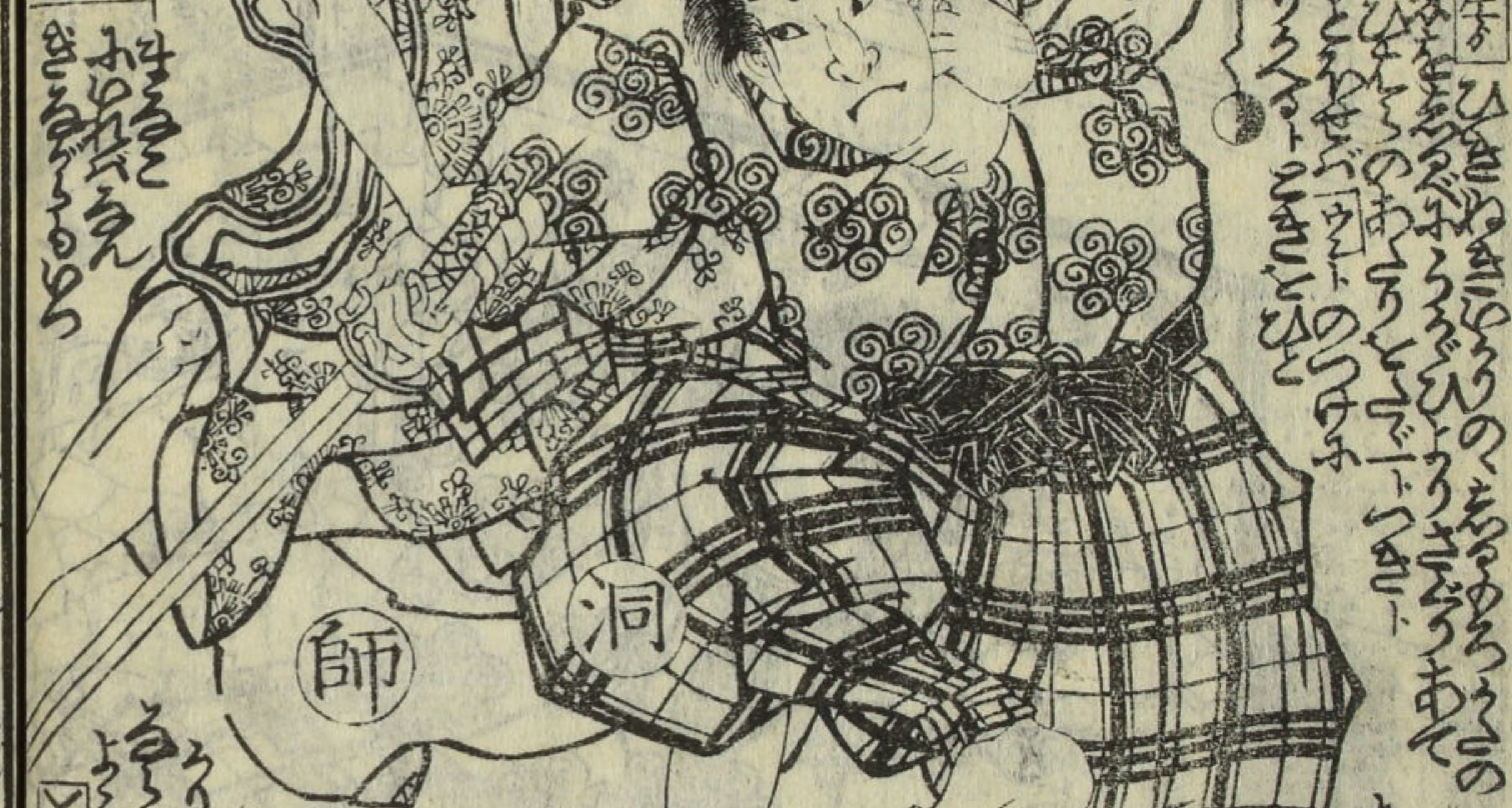
Handwritten text in vertical columns, likely a preface or introductory text.

Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or commentary.



Handwritten text at the bottom of the left page, possibly a signature or date.

Handwritten text in vertical columns at the top of the right page.



Handwritten text in vertical columns at the bottom of the right page, including a signature 'X' and 'Y'.

種員作國貞画



浄書 青洲

安政四
丁巳
新春
發行
日録記

女郎花五色石臺

八編 折下多種員他
九編 一統齋國盛画

新編金瓶梅

初編 十編 大尾
曲亭馬琴作
一陽齋豊國画

黄金水久々盃

五編 六編 出板
為永美水化
秋川國貞画

小倉百人一首姬文庫

極彩色 小本一冊

古今俳人百撰

中本 荒木田吉氏作
二冊 七ヶめ装巻あり
いりしは徳也

芝神明前 甘泉堂 和泉屋市兵衛板

一猛齋芳希画
六六歌撰詠色双六

身書古歌つぎよと極色
きふはまをれくのあふりり
そのけきこあつたれば物栄の
ひるくこふ極上もきぬら

保
有
嬉

款
那



什
題
聖
國
圖

壽
椿

甘
泉
名
書



保
有
嬉

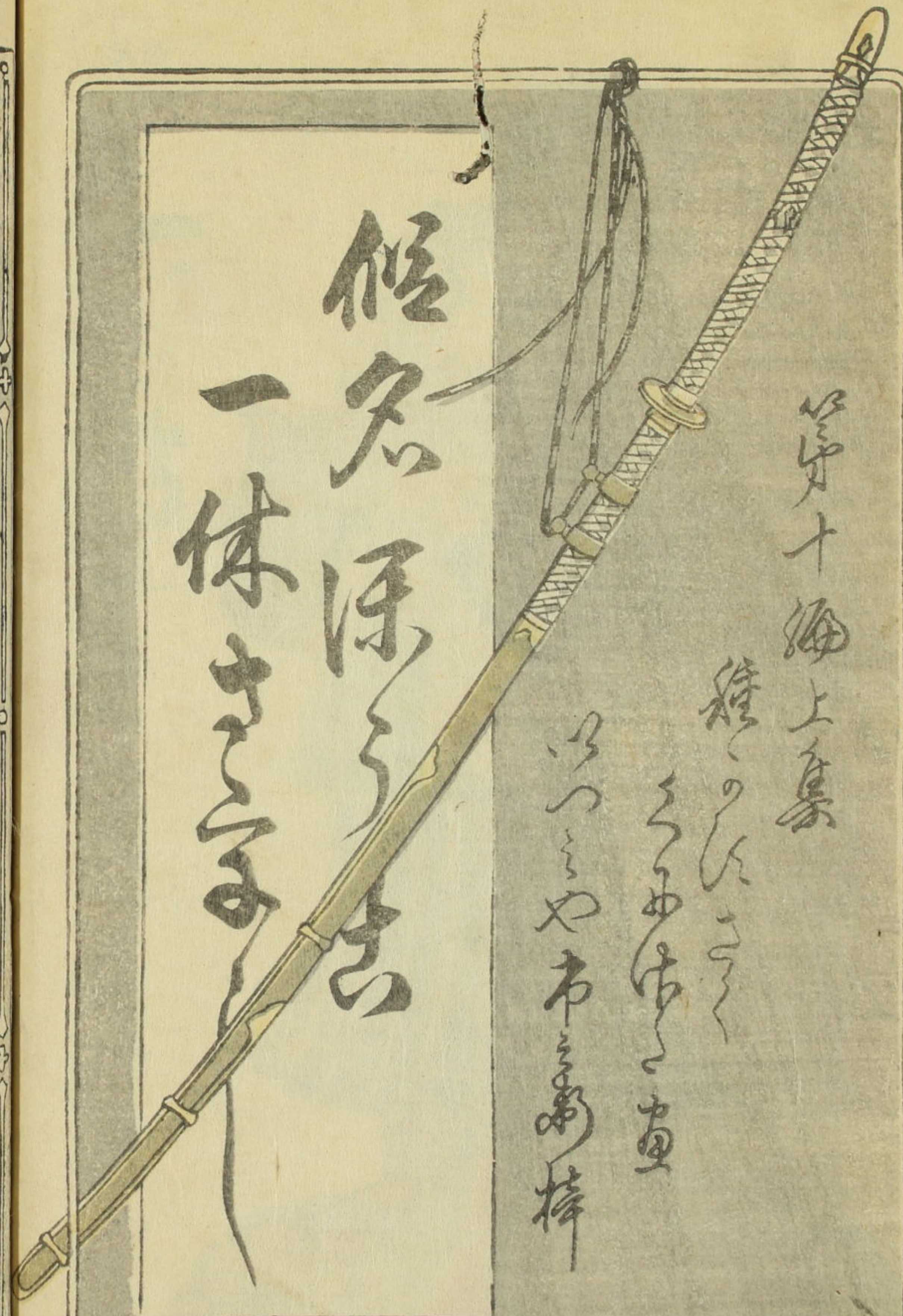
第十海上集

終のひこ

くちやあま

いふもや市あ梓

能名保志の 一休さん



佛鬼軍と題号と世上流布とる書あり佛と鬼と戦と闘阿弥陀の
 利劍切先尖く井の智慧矢烈く焰王惡鬼も敵難く竟く地獄
 と攻破も降衆とるの乃大意彼紫野の老和尚戲の筆も成る
 近世の赤本と唱るのよ鬚髯も謡曲の山姥も一休の作とるけん
 禪師へかろく裨官も因ありとあまうさんと我黨が田へひく湖や堅田里
 なる心昌尼が不計災厄も託憂身や浮御堂真野入江の真心も節多
 守信平が衛を濱の討死場其宵闇も千菊丸が母の危難も救ると碎く
 心を助るも白化なるとぬ白狐の神通報も速き恩と讐善惡二個と教示
 の捷徑是讀易き假名文の狂言綺語も一部二部讚佛乘の縁とも
 なれと思ひるもの採毛錐の佛家の斐蹟を綴るなかりん歟

安政戊午孟陽

柳下亭種員識



一休十編



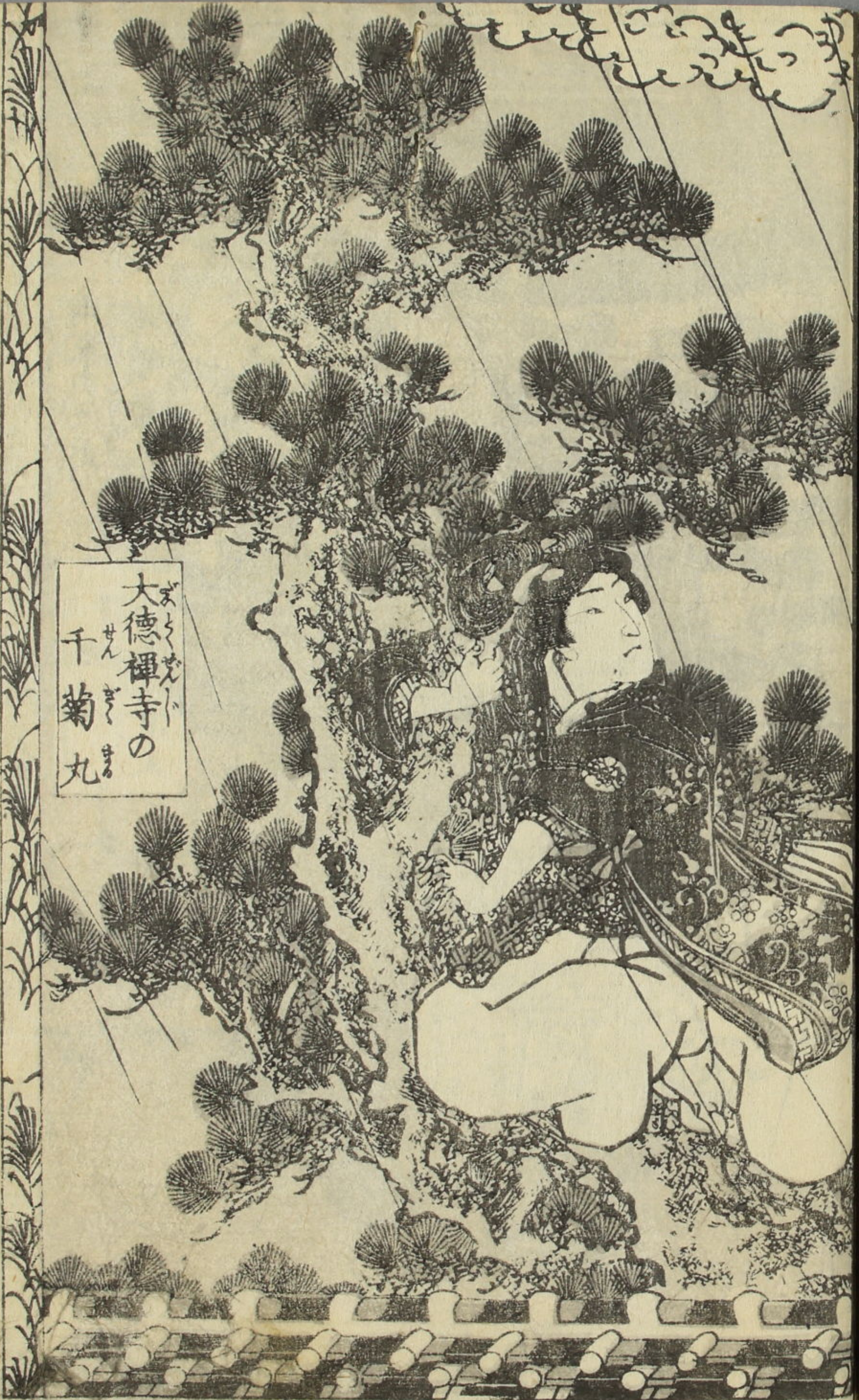
第一空中

白狐の通力心昌尼が
在俗の形容を現は

一
十
部

一
十
部

大徳禪寺の
千菊丸



第二樹上

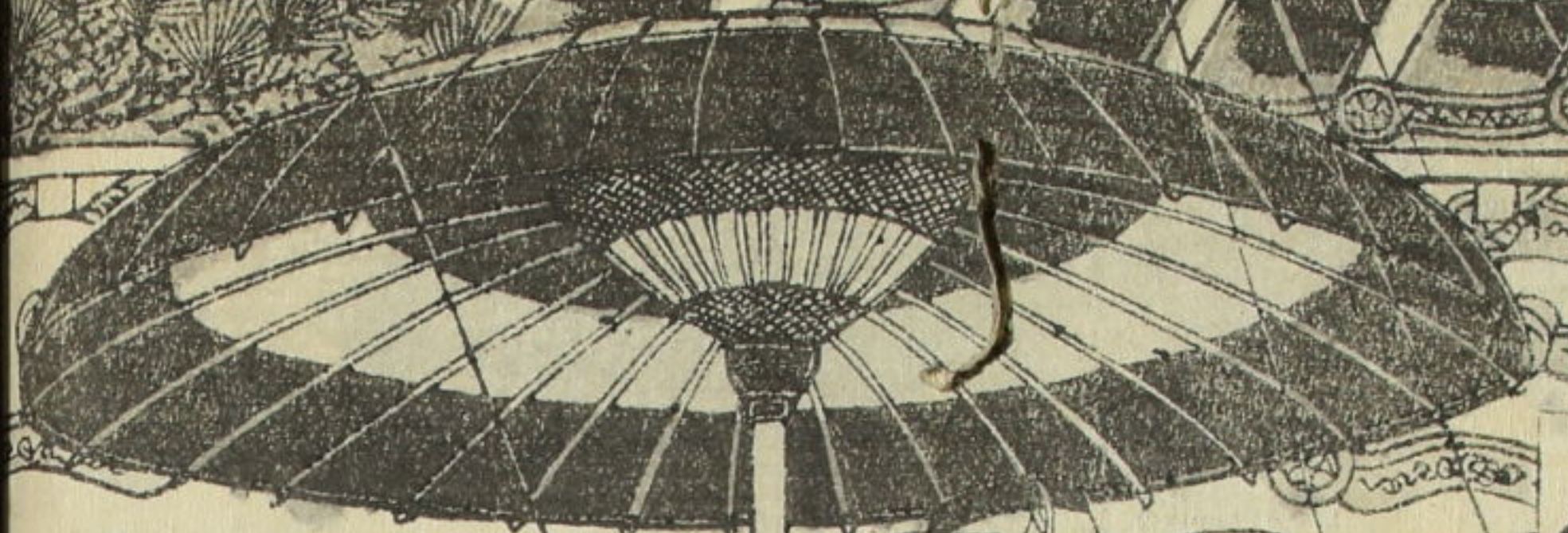
江州甲賀山の
小姫の
扱



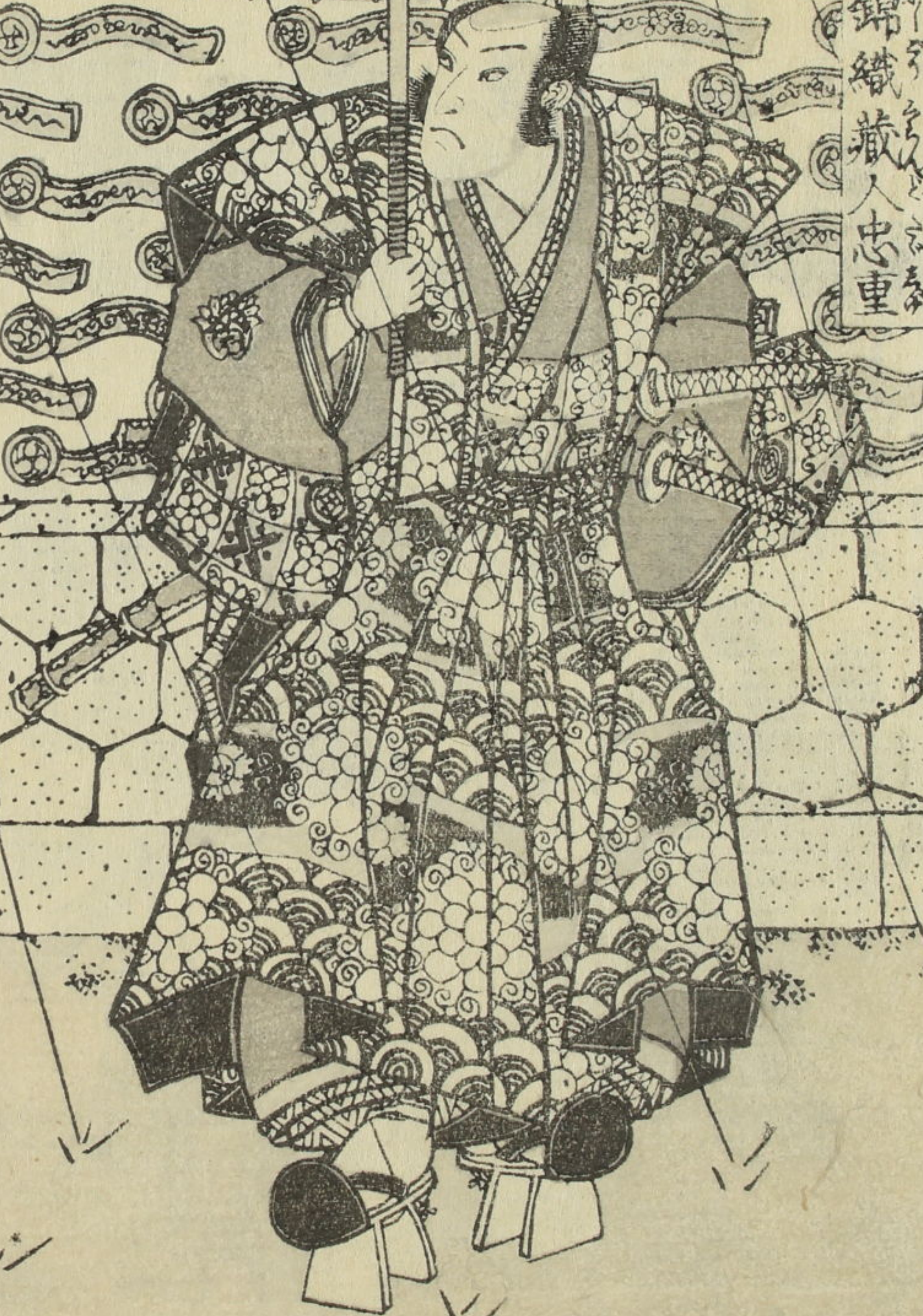
第三平地

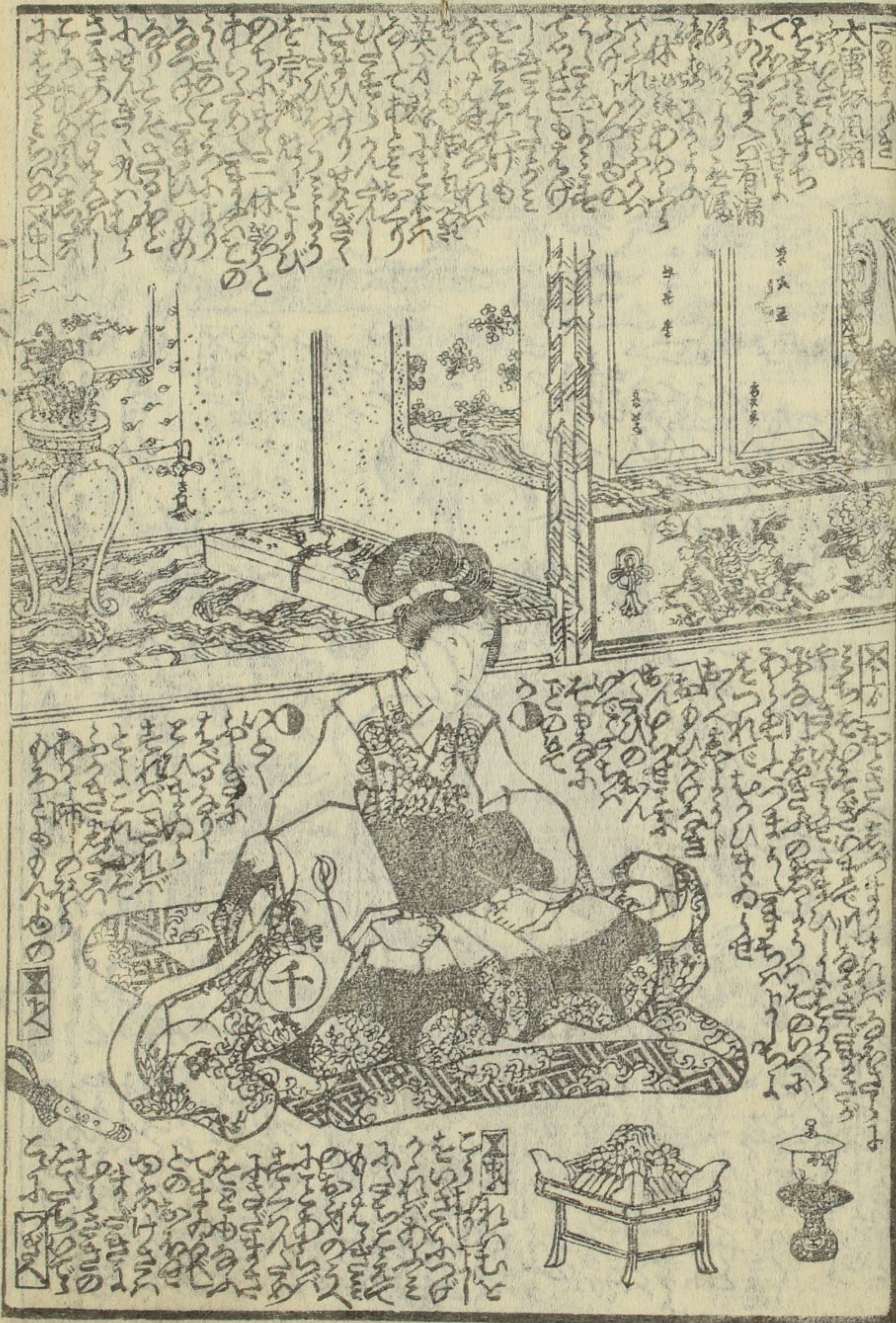


再出
心昌
禪尼

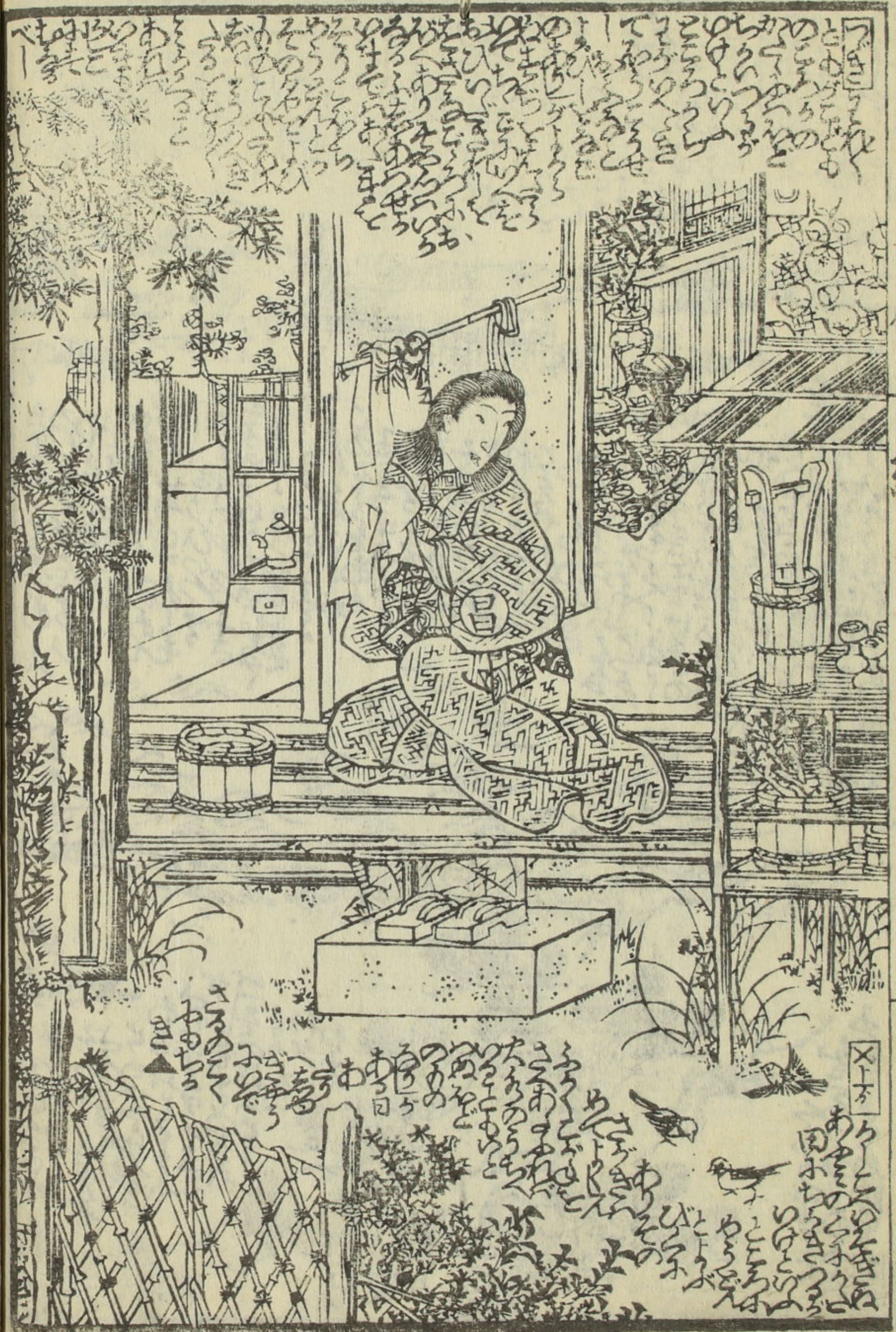
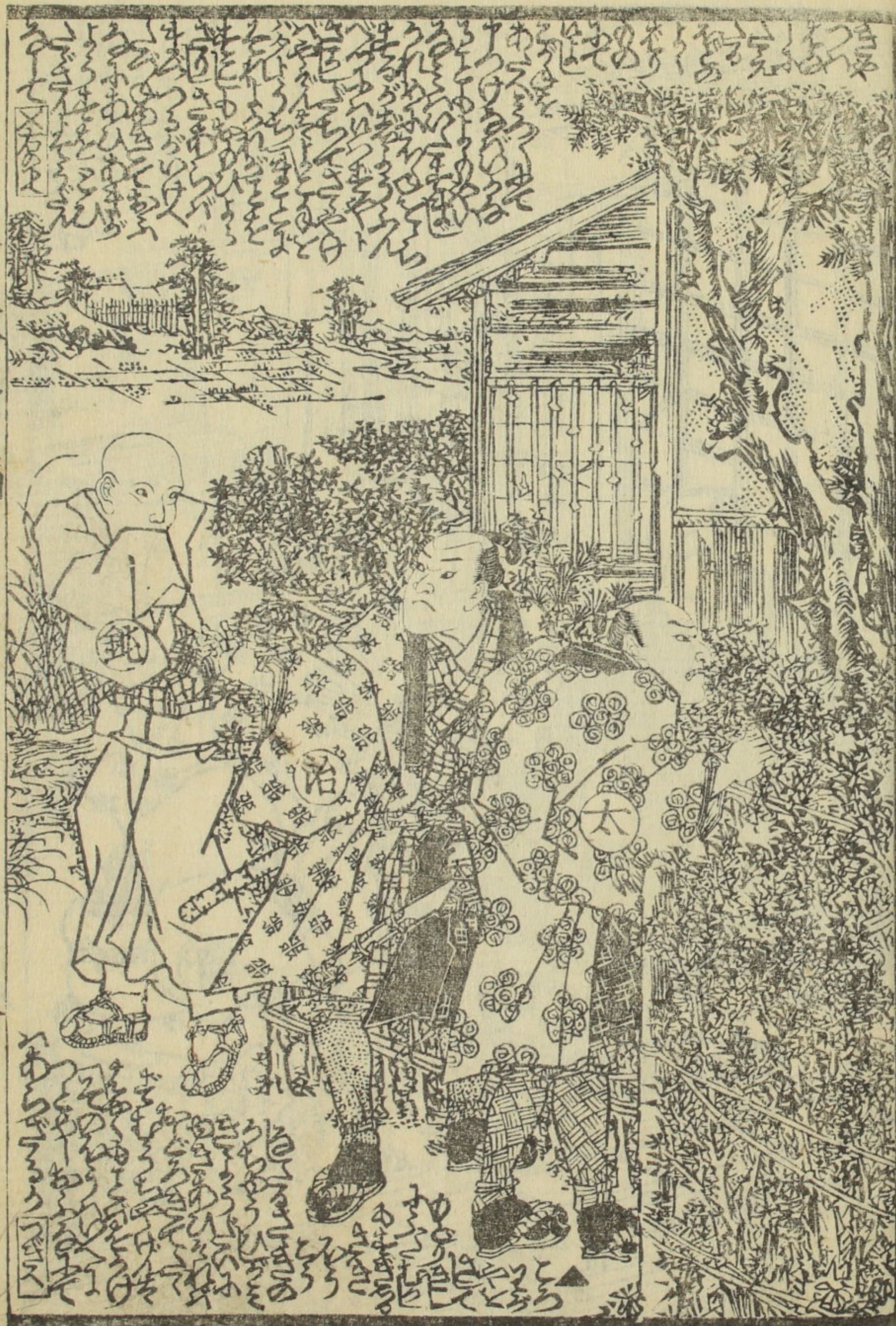


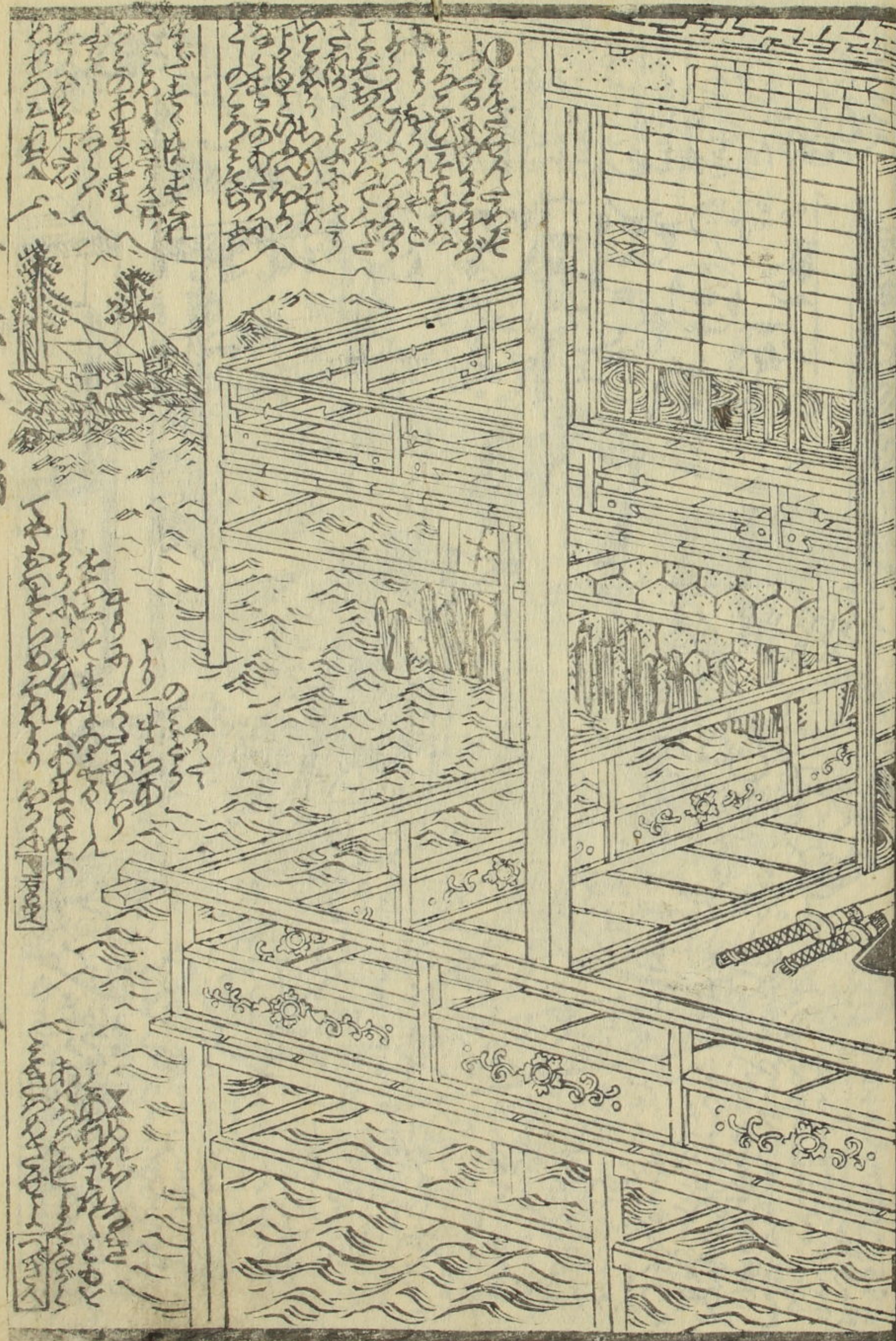
六角家の元老
錦織藏人忠重



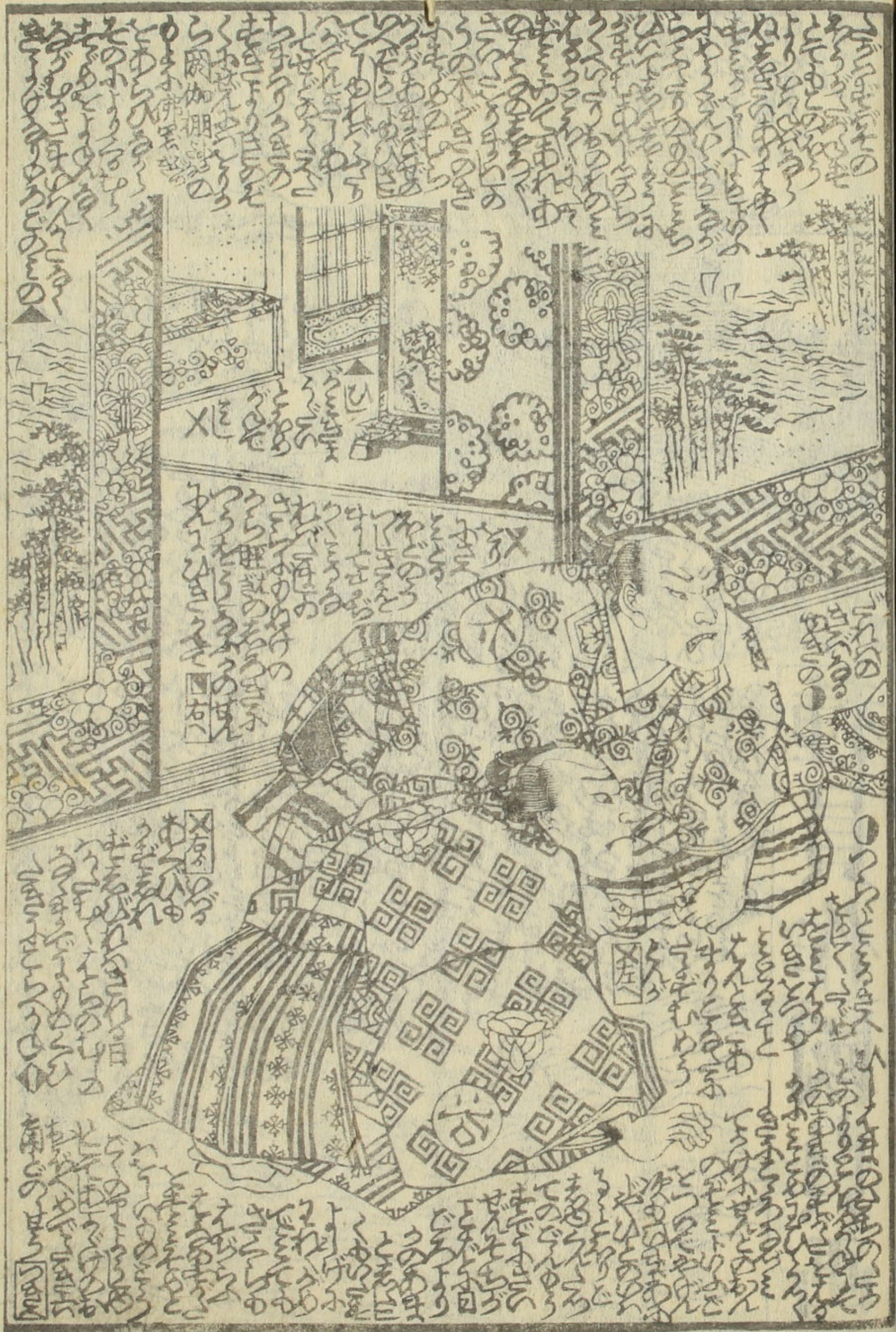


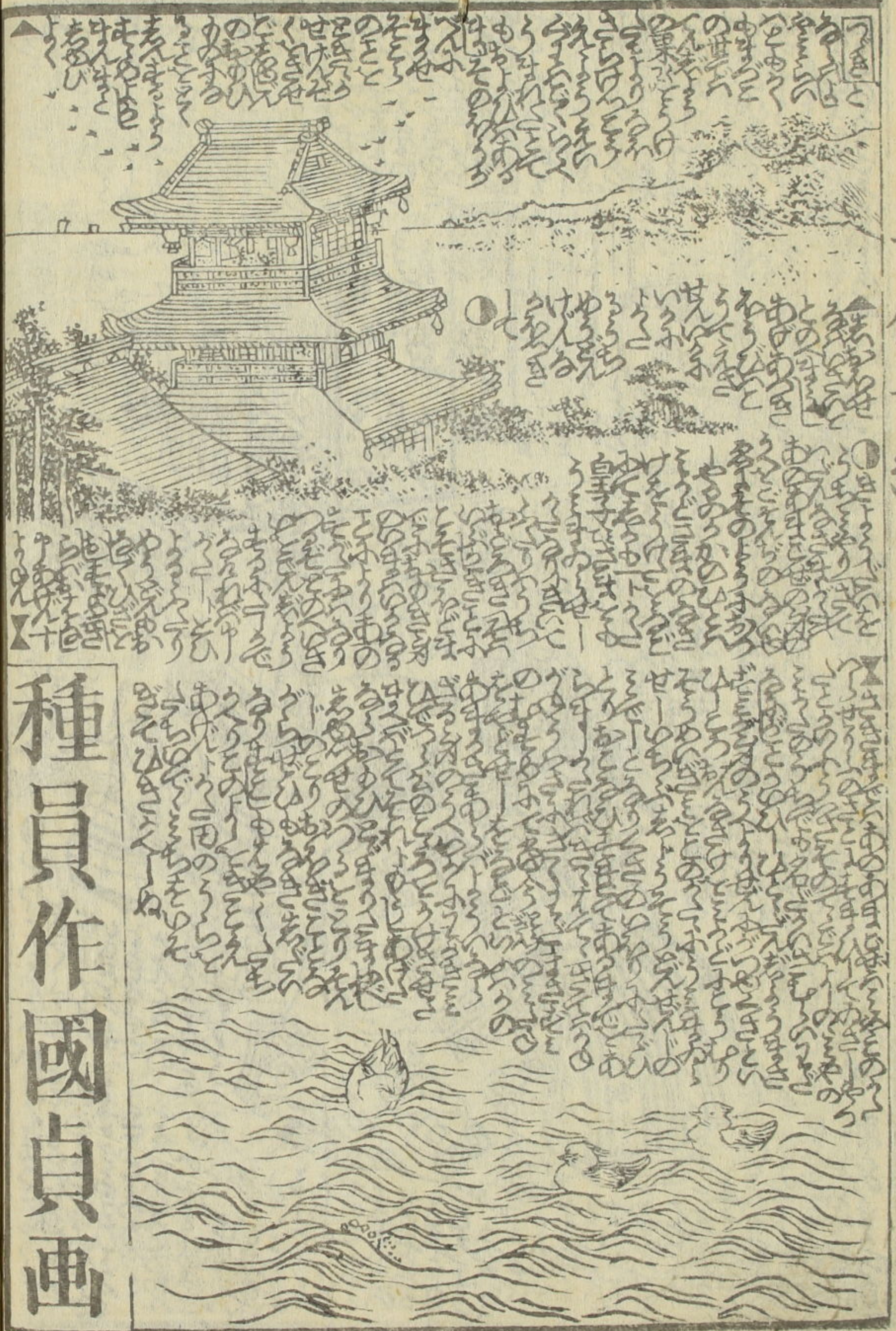






休十翁





種員作國貞画

柳煙亭種久作
一壽齋國貞画

忠信貞婦
以呂波

文庫

初編之編少後
後修二冊別之編

柳下亭種員校
一陽齋豐國助
梅素亭玄魚補

反名一休草紙
十編 十一編 十二編
柳下亭種員作
一雄齋國輝画

小女郎映心草環
三編 大尾
曲亭馬琴作
一勇齋國芳画

照天松操月鹿毛
五編 六編 大尾
春風亭柳枝作
一雄齋國輝画

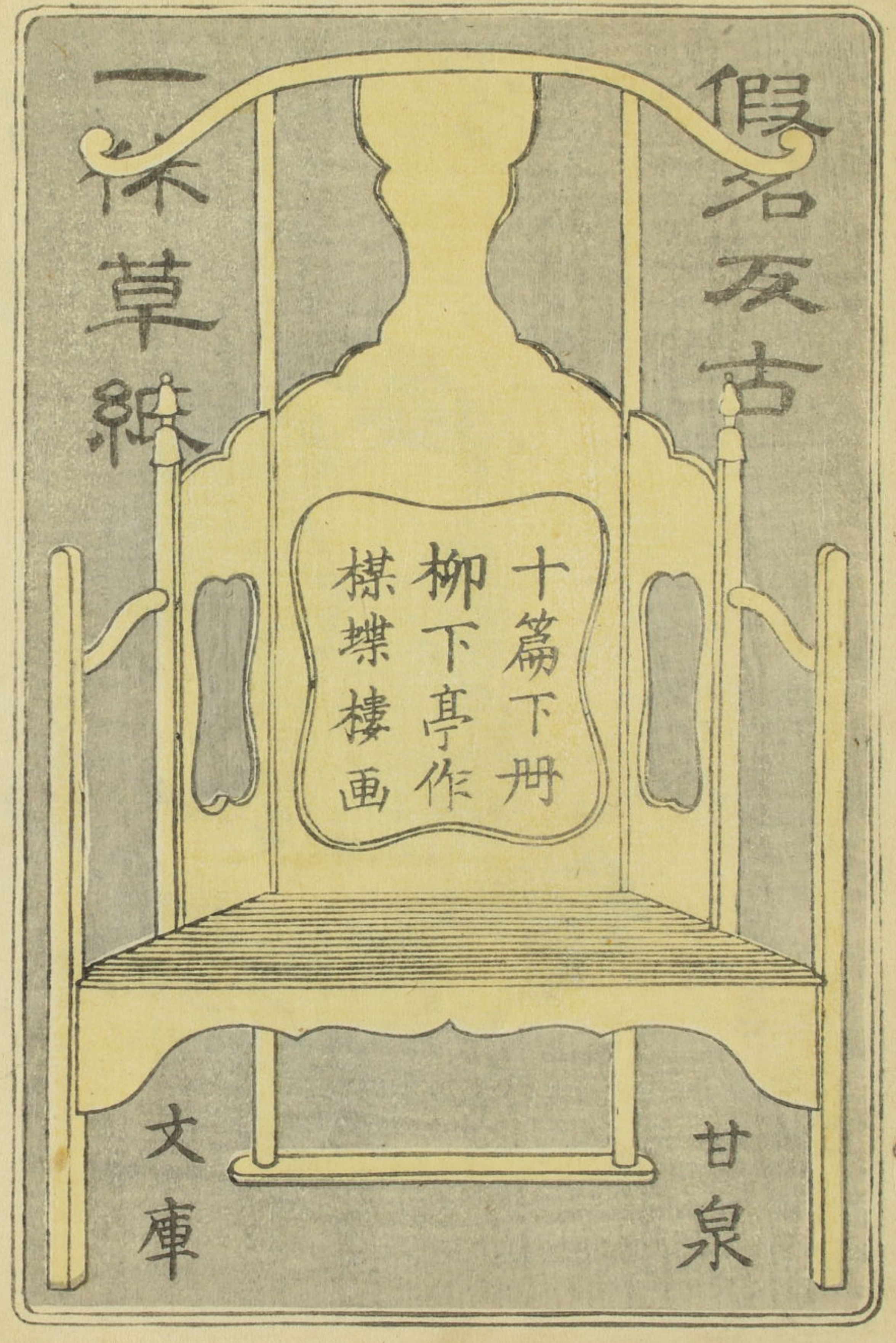
風俗淺間嶽
六編 七編
種員校合
種久抄録
國貞畫

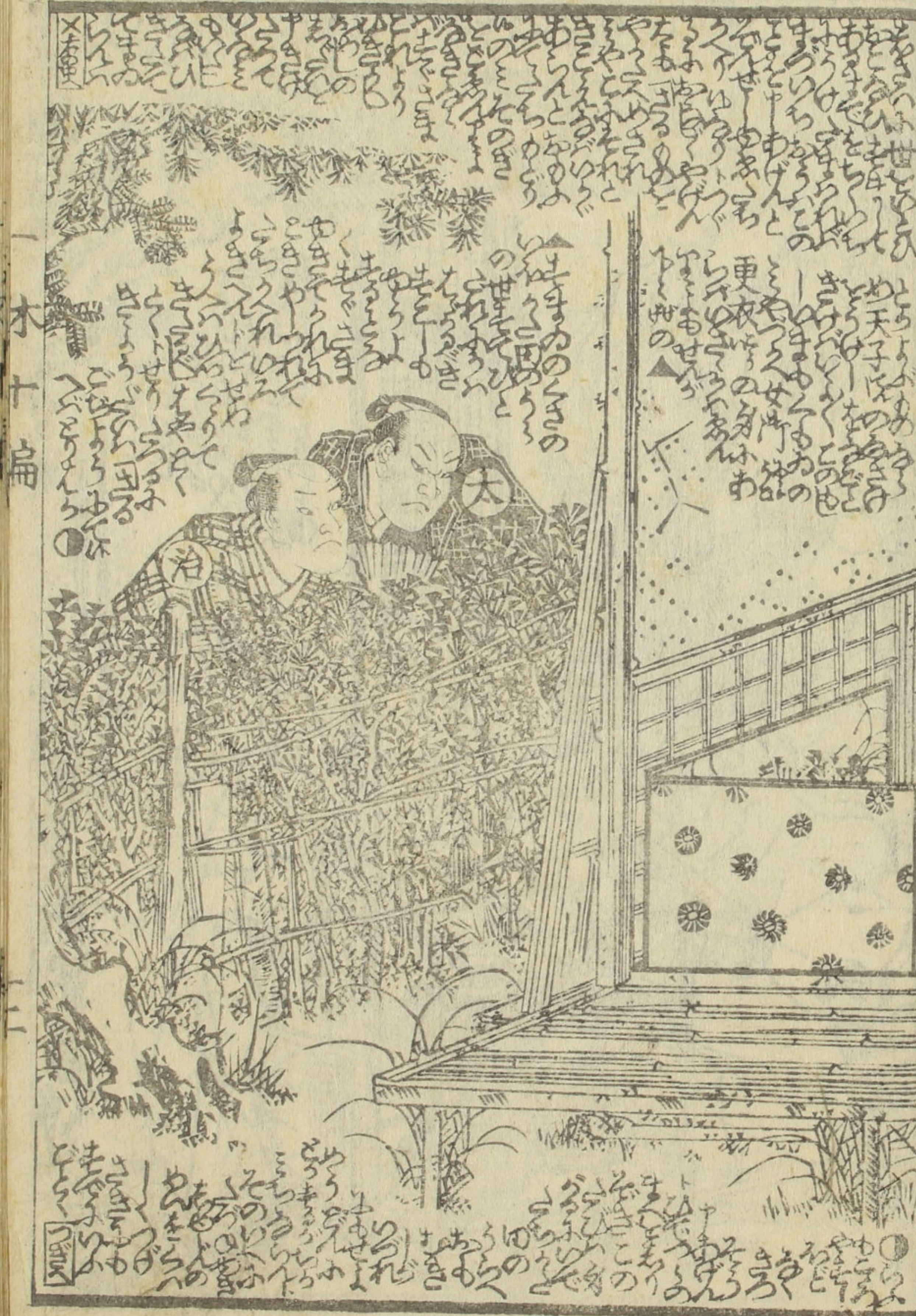
沙
志
休

多年一須作
久途修那画

十編下





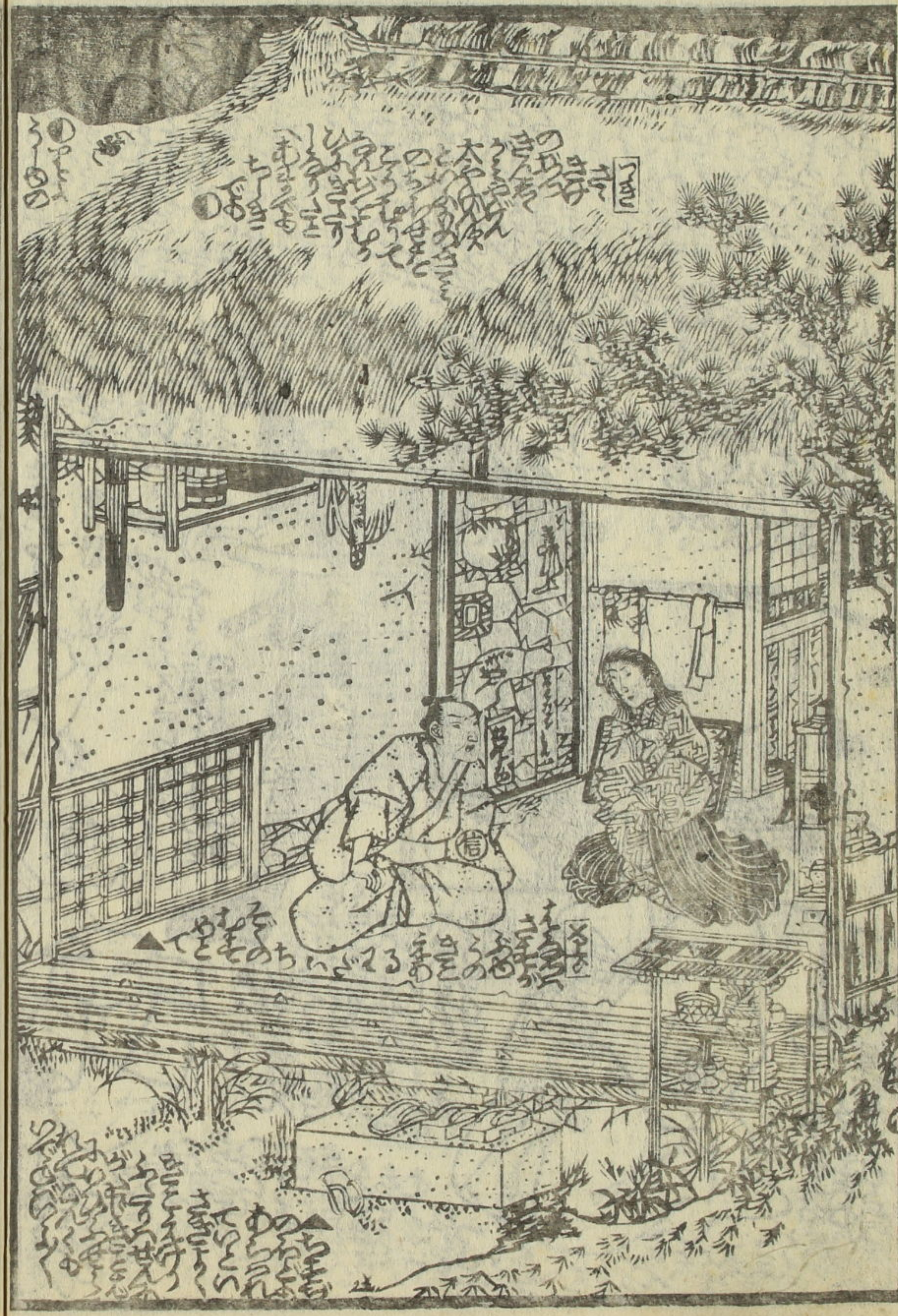
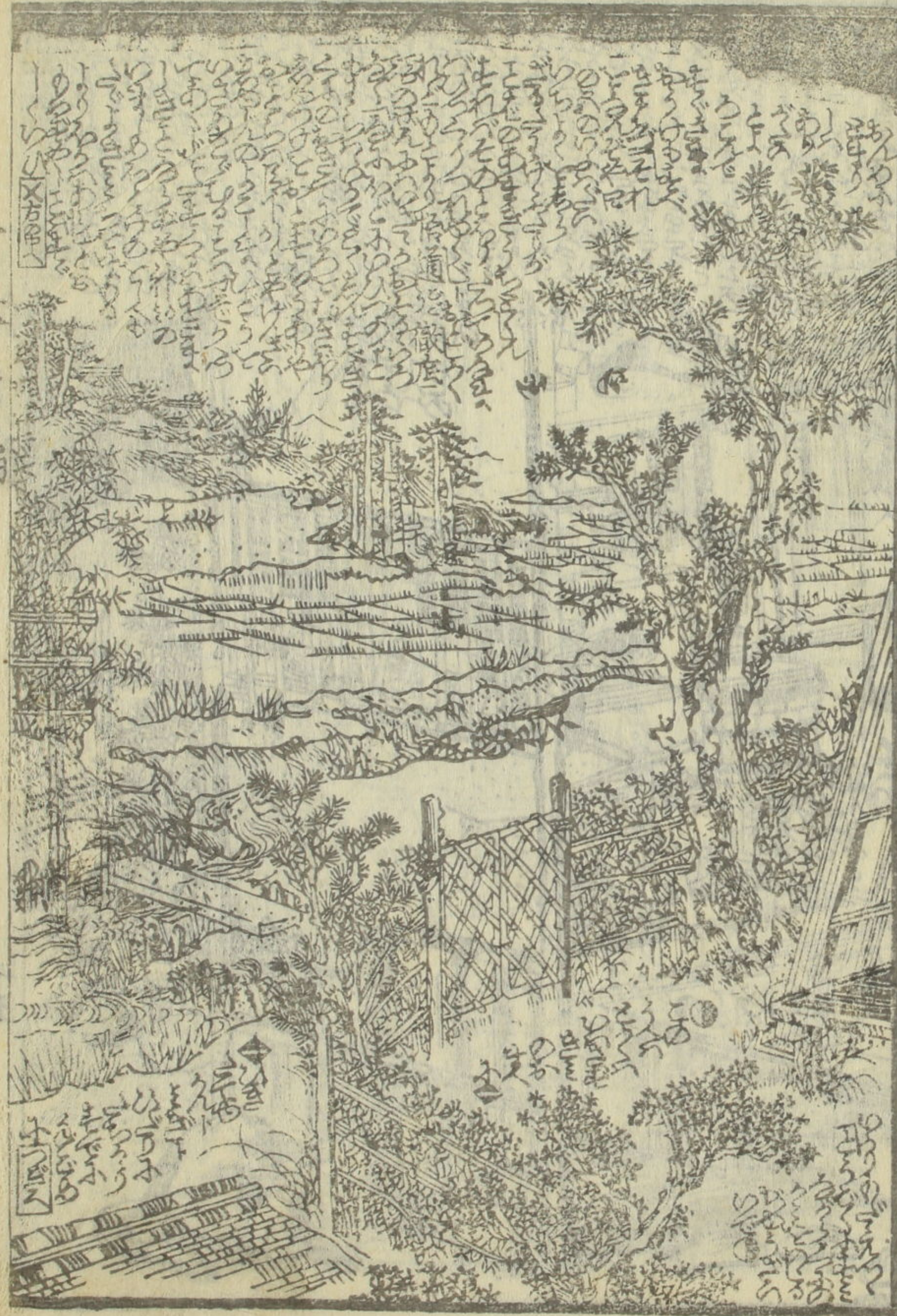


木十編



十一編







木下編

十一



十一

十一



木下編



木下編

十一



Handwritten text in the upper section of the left page, written in vertical columns. The text is dense and appears to be a narrative or commentary related to the scene below.



Handwritten text in the lower section of the left page, continuing the narrative or commentary. A small rectangular stamp is visible in the bottom left corner.

木一編

二

Handwritten text in the upper section of the right page, written in vertical columns. The text is dense and appears to be a narrative or commentary related to the scene below.



Handwritten text in the lower section of the right page, continuing the narrative or commentary.

木一編

二



種員作
國貞画

淨書青洲

源平
打毬

双六

は翠の白と赤
の甲と乙の
中ひらちを
そよていとく
あり

女郎花五色石臺

八編

折下多種員作
一雄齋國貞画

新編金瓶梅

十編

曲亭馬琴作
一陽齋豊國画

黄金水大空盃

七編

為永美水化
秋川國貞画

一猛齋芳虎画

三十六歌仙詠色双六

古今よひなる双六あり

柳下亭種員作

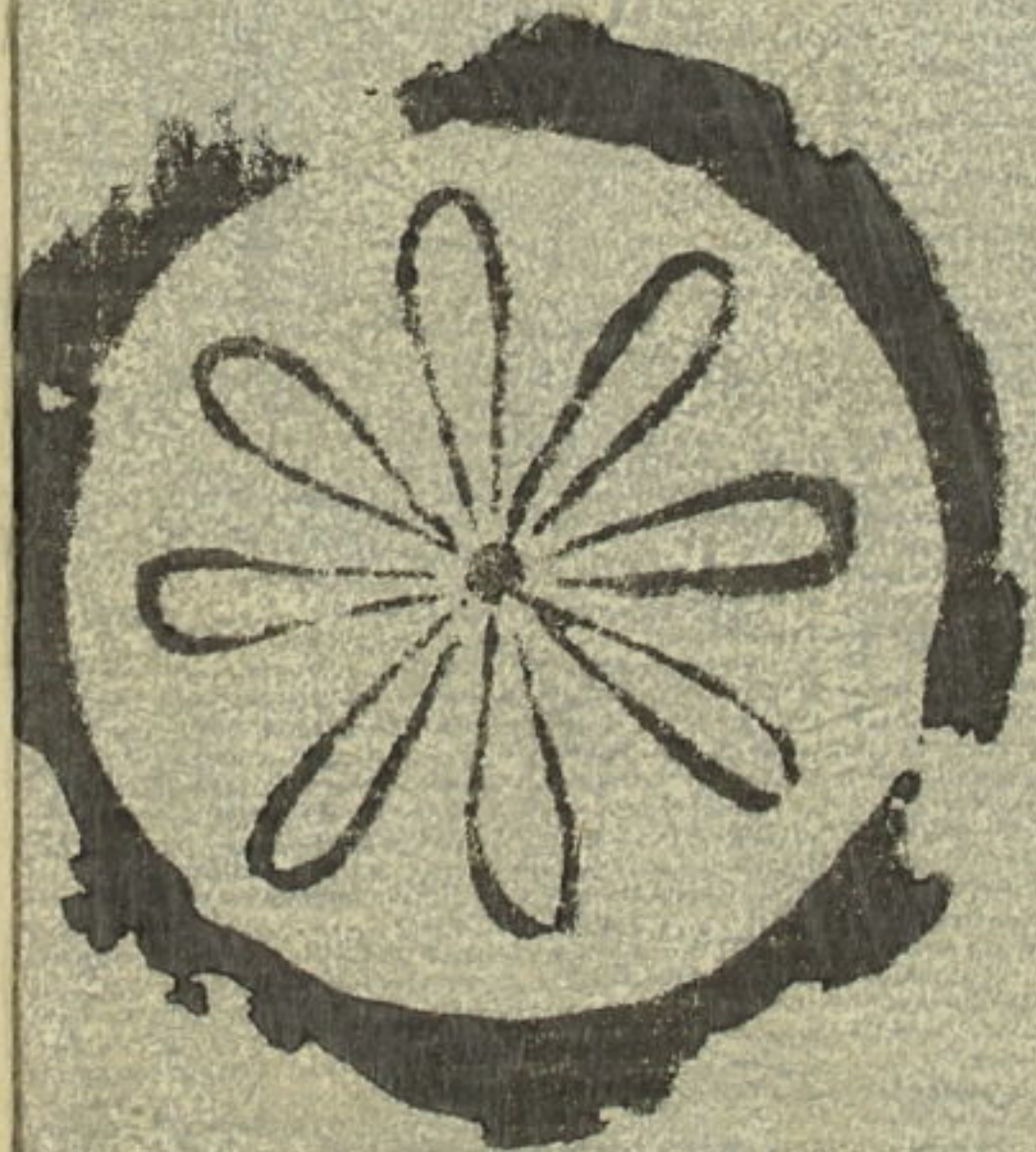
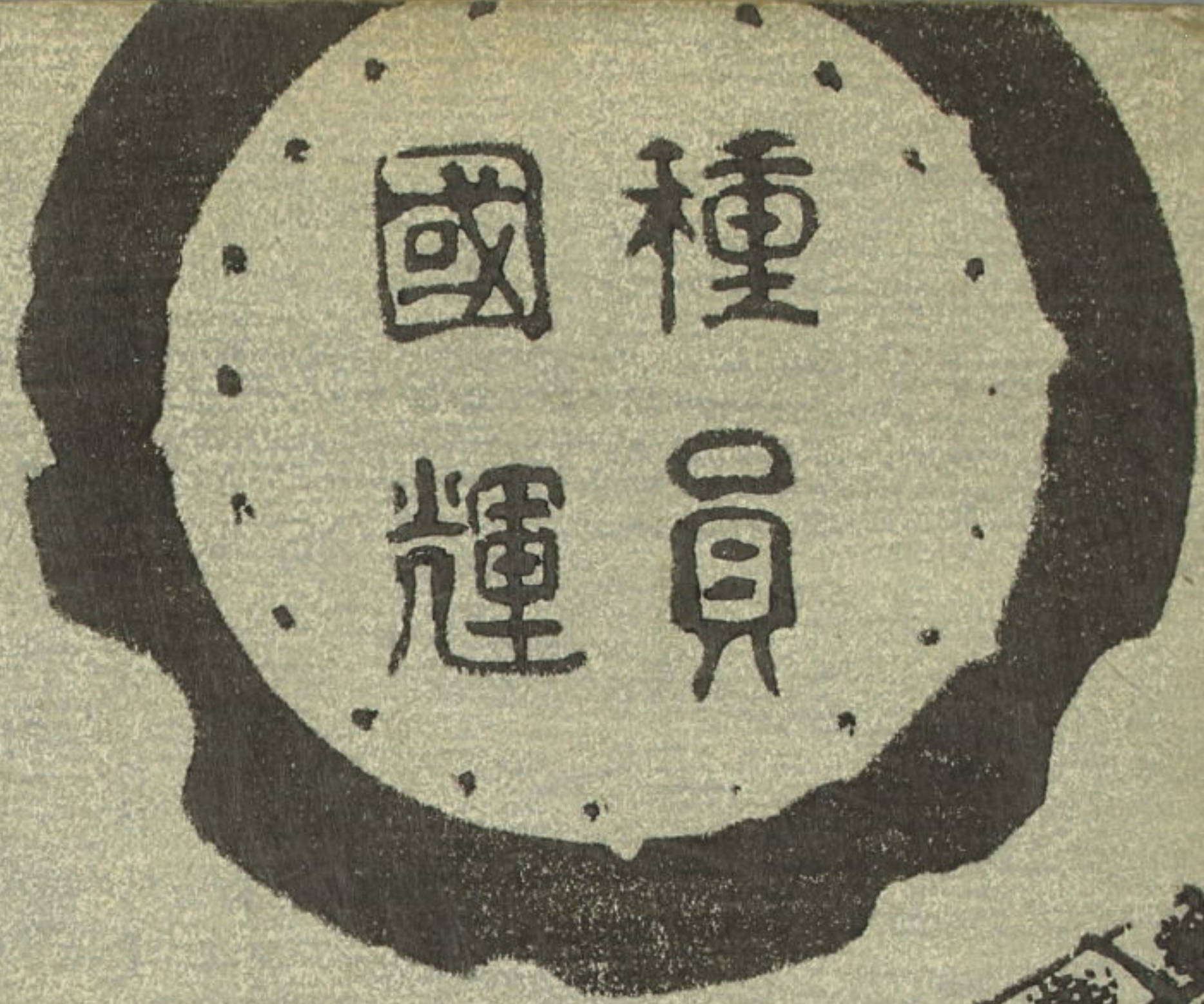
兒雷也豪傑譚

卅一編
卅二編
卅三編

一壽齋國貞画

芝神明前 甘泉堂 和泉屋市兵衛板

卯下五種員三



木一其利貞作

一壽齋國貞畫



甘泉堂板

